

**SYSTEM FOR COLLECTING ARTICLE EVALUATION INFORMATION**

Patent Number: JP2002007855  
Publication date: 2002-01-11  
Inventor(s): KAGOSHIMA EIJI  
Applicant(s): KAGOSHIMA EIJI  
Requested Patent: ☐ JP2002007855  
Application Number: JP20000186366 20000621  
Priority Number(s):  
IPC Classification: G06F17/60; G06F17/40  
EC Classification:  
Equivalents:

---

**Abstract**

---

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a system for collecting evaluation information from a registered member in an information providing system for providing the evaluation information of an article, using a network.

**SOLUTION:** This system for collecting the evaluation information of the article from a consumer via the network is provided with a step where a registered member system is adopted and the article evaluation information is collected from the registered member, and where a site for opening the information to the public is opened on the network, a step for transmitting a member introducing data including mail address information of a non-registered member from the registered member on the site, a step for transmitting an introducing data of the article evaluation information collecting system to a terminal of the introduced non-registered member from a site opening group side when the introducing data is received, and a step for executing member registration based on a desire of the introduced non-registered member, and those steps are conducted by programmed control.

---

Data supplied from the esp@cenet database - I2

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-7855

(P2002-7855A)

(43) 公開日 平成14年1月11日 (2002.1.11)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テーマコード(参考)
G 0 6 F 17/60	3 2 6	G 0 6 F 17/60	3 2 6 5 B 0 4 9
	1 5 0		1 5 0
	5 0 4		5 0 4
17/40	3 1 0	17/40	3 1 0 A

審査請求 未請求 請求項の数7 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願2000-186366(P2000-186366)

(22) 出願日 平成12年6月21日 (2000.6.21)

(71) 出願人 500237427

鹿児島 英治

神奈川県川崎市中原区新丸子東1丁目839

番地 パークヒルズ武蔵小杉501号

(72) 発明者 鹿児島 英治

東京都渋谷区宇田川町36-22ノア渋谷P A

R T 2 902号 有限会社ウィルファクト

リー内

(74) 代理人 100096024

弁理士 柏原 三枝子

Fターム(参考) 5B049 AA02 BB11 CC02 DD01 EE00

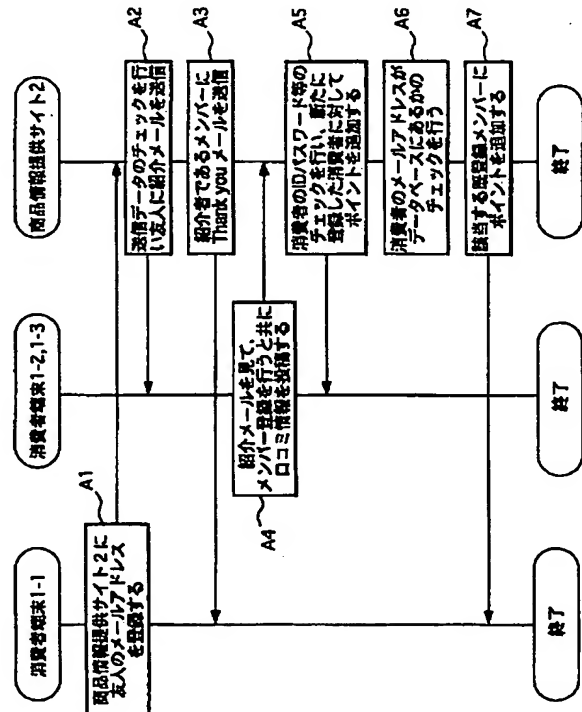
FF03 GG02 GG04 GG07 GG09

(54) 【発明の名称】 商品評価情報収集システム

(57) 【要約】

【課題】 ネットワークを用いて商品の評価情報を提供する情報提供システムにおいて登録メンバからの評価情報を収集するシステムを提供する。

【解決手段】 ネットワークを介して消費者から商品の評価情報を収集する商品評価情報収集システムにおいて、登録メンバ制を採用して、登録を受けたメンバから商品評価情報を収集してこれを公開するサイトをネットワーク上に開催するステップと、前記登録メンバが前記サイトに非メンバのメールアドレス情報を含むメンバ紹介データを送信するステップと、前記紹介データを受信した時に前記サイト開催者側が前記紹介を受けた非メンバの端末に前記商品評価情報収集システムの紹介データを送信するステップと、前記紹介を受けた非メンバの希望に基づいてメンバ登録を実行するステップとを具え、これらのステップをプログラム制御で行うようにする。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 ネットワークを介して消費者から商品の評価情報を収集する商品評価情報収集システムにおいて、登録メンバー制を採用して、登録を受けたメンバーから商品評価情報を収集してこれを公開するサイトをネットワーク上に開催するステップと、前記登録メンバーが前記サイトに非メンバーのメールアドレス情報を含むメンバー紹介データを送信するステップと、前記紹介データを受信した時に前記サイト開催者側が前記紹介を受けた非メンバーの端末に前記商品評価情報収集システムの紹介データを送信するステップと、前記紹介を受けた非メンバーの希望に基づいてメンバー登録を実行するステップとを具え、これらのステップをプログラム制御で行うことを特徴とする商品評価情報収集システム。

【請求項2】 請求項1に記載の情報収集システムにおいて、前記紹介データが更に、前記紹介を行ったメンバーの氏名と、当該メンバーから前記紹介を受ける非メンバーに対するコメントとを含むことを特徴とする情報収集システム。

【請求項3】 請求項1又は2に記載の情報収集システムにおいて、前記紹介を行ったメンバーの氏名が本名であることを特徴とする情報収集システム。

【請求項4】 前記システムが、前記紹介を受けた非メンバーが登録を行い、かつ前記サイトに商品評価情報を送信した場合、前記紹介を行ったメンバー、または、前記紹介を行ったメンバーと紹介を受けたメンバーの双方にポイントを加算するステップを含むことを特徴とする情報収集システム。

【請求項5】 請求項4に記載の情報収集システムにおいて、前記ポイントを獲得したメンバーは、獲得したポイント数に応じて情報提供システムの運営者から報酬を受け取ることができることを特徴とする情報収集システム。

【請求項6】 請求項1乃至5のいずれかに記載の情報収集システムにおいて、前記登録を受けた消費者のメールアドレス、及び前記消費者データに含まれるメールアドレスのログを記録しておくことを特徴とする情報収集システム。

【請求項7】 請求項1乃至6に記載の情報収集システムを実行するためのプログラムを格納したことを特徴とする記録媒体。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、情報収集システムに関し、特に、登録メンバー制を採用して、登録を受けたメンバーからネットワークを用いて商品の評価情報を収集し、これをネットワーク上で公開する商品評価情報収集システムに関する。

## 【0002】

【従来の技術】近年では、商品に関する情報、例えば販

売品目やその販売価格、販売場所やその商品を購入した消費者のコメント等の情報をデータベースに蓄積し、ネットワークを介してこれを公開して商品の購入希望者に必要な情報を提供するサイトが構築されている。このような情報のうち、すでに商品を購入した消費者のその商品に対する評価情報は、商品の売れ行きを左右するファクタとなるため、他の消費者のみならず、製造元、販売元にとっても非常に重要である。企業側は、上述した情報提供サイトに商品情報を掲載することによってマーケティング活動を行うようにしているため、情報提供サイトを運営するにあたっては、評価情報を多く収集できればできるほど収益を上げることができる。

【0003】従来は、このような商品に対する消費者のコメントは、情報提供側が消費者に直接電話をかけた、ダイレクトメールを送るなどして入手していた。また、電子メールを利用して、消費者にコメントの投稿を呼びかけるなどの方法もとられている。

## 【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、このような従来の方法は、評価コメントを送ろうという消費者の自発的な意志に基づくため、評価情報を提供してくれる消費者を獲得するのはなかなか困難なことである。特に、消費者に対して電話やダイレクトメールなどで評価情報の提供を求める方法では、消費者に警戒心が働くこともあって、多くの評価情報の提供を見込めない。

【0005】本発明は上記課題を解決すべくなされたものであり、登録メンバー制を採用して、登録済メンバーの紹介を介して非登録メンバーにコンタクトを取ることでより多くの評価情報を収集しうるようにした情報収集システムを提供することを目的とする。

## 【0006】

【課題を解決するための手段】上記課題を解決すべく、本発明の情報収集システムは、ネットワークを介して消費者から商品の評価情報を収集する商品評価情報収集システムにおいて、登録メンバー制を採用して、登録を受けたメンバーから商品評価情報を収集してこれを公開するサイトをネットワーク上に開催するステップと、前記登録メンバーが前記サイトに非メンバーのメールアドレス情報を含むメンバー紹介データを送信するステップと、前記紹介データを受信した時に前記サイト開催者側が前記紹介を受けた非メンバーの端末に前記商品評価情報収集システムの紹介データを送信するステップと、前記紹介を受けた非メンバーの希望に基づいてメンバー登録を実行するステップとを具え、これらのステップをプログラム制御で行うことを特徴とする。

【0007】このように、本発明の情報収集システムは、登録したメンバーの紹介を介して非メンバーの新規登録を募り、この新規登録メンバーから新たな商品評価を得るようにしている。従って、新規メンバーの加入により新しい商品評価情報を得ることができると共に、新規加入す

るメンバ側に対しては当該システムに対する信頼感や安心感が生じるので、登録する可能性が高いものとなる。また、これらの新規メンバ加入手続きはプログラム制御により行われるため、情報提供サイトの運営者は当該システムを公開しておくことにより自動的に登録メンバを増やすことができ、結果としてより多くの評価情報を収集することができる。尚、ここで本明細書における商品には、サービスが含まれるものとする。

【0008】前記紹介データは更に、前記紹介を行ったメンバの氏名と、当該メンバから前記紹介を受ける非メンバに対するコメントとを含み、更に、この氏名は本名であることが好ましい。

【0009】このように、紹介を受ける非メンバに送信される紹介データには紹介者であるメンバの氏名とコメントが含まれているので、紹介を受ける非メンバにとっては知人等の保証がつくことになる。このため、見知らぬ企業からのダイレクトメール等と違って、当該情報提供システムに対する安心感や信頼感をもつことができ、情報提供システムへの登録率を高め、最終的には評価情報を多く収集することができる。

【0010】本発明の好適な実施形態では、前記システムが、前記紹介を受けた非メンバが登録を行い、かつ前記サイトに商品評価情報を送信した場合、前記紹介を行ったメンバ、または、前記紹介を行ったメンバと紹介を受けたメンバの双方にポイントを加算するステップを含むことを特徴とする。また、前記ポイントを獲得したメンバは、獲得したポイント数に応じて情報提供システムの運営者側から報酬を受け取ることができることを特徴とする。

【0011】このように紹介者であるメンバと新たに登録を受けたメンバに対してポイントが加算され、このポイントに応じて報酬を受け取ることができるので、登録メンバの数を容易に増やすことができる。また、非メンバが登録を行い、かつ商品評価情報を送信した場合のみポイントが加算されるので、運営者側にとっては低リスクで情報提供システムを運営することができ、また商品評価情報を効率よく収集することができる。

【0012】なお、前記登録を受けた消費者のメールアドレス、及び前記消費者データに含まれるメールアドレスのログを記録しておくことが好ましい。

【0013】このようにメールアドレスのログを記録することにより、情報提供システムへの登録をする場合に、記録されたログと新たに登録を受けた消費者のメールアドレスとを比較することによって、二重登録等を防ぐことができる。

【0014】また、本発明の記録媒体は、本発明の情報収集システムを実行するためのプログラムを格納したことを特徴とする。

【0015】

【発明の実施の形態】以下に本発明の実施の形態を添付

の図面を参照して説明する。図1は、本発明の情報収集システムを実施する情報提供システムの構成を示すブロック図である。図1に示すように、情報提供システムは、消費者端末1と商品情報提供サイト2が、インターネット等のネットワーク10を介して接続されている。尚、消費者端末1は3つしか図示していないが、実際には多数の端末が接続されているものとする。

【0016】消費者端末1は、一般の家庭にあるような通常のパーソナルコンピュータ端末であり、インターネット等による通信が可能なブラウザソフトを備えた端末である。尚、消費者端末1-1は商品情報提供サイト2の登録メンバであるが、消費者端末1-2と1-3は情報提供サイト2の登録を受けていない。この情報提供サイト2への登録制度については後述する。

【0017】一方、商品情報提供サイト2は、www.abc.netというURLアドレスを有するウェブサイトであり、商品の付加価値情報（例えば商品に関する消費者の評価コメント（口コミ情報）、商品の販売価格、商品説明等）をネットワーク10を介して消費者端末1に提供するウェブサイトである。この情報提供はネットワーク10に接続されたすべての消費者端末に対して提供される。

【0018】上述した商品付加価値情報の中で、商品に関する評価コメントは、実際に商品を購入した消費者等が当該サイト2へネットワーク10を介して送信することによりサイト2へと集められている。この評価コメントの送信は登録を受けた消費者端末のみ、本実施形態の場合、消費者端末1-1のみが投稿することができる。

【0019】この情報提供サイト2はメンバの登録制度を採用しており、上述したように登録を受けた消費者のみが商品に関する評価コメントを提供することができる。このサイト2への登録手続はネットワーク10上のデータのやりとりで済ませることができ、メンバの登録料は無料である。具体的には、サイト2にアクセスし、所定欄に任意のハンドルネーム（サイト2上で公開される）、IDパスワード、本人確認用の誕生日の日付、電子メールアドレス等を入力することにより登録を受けることができる。ここで、加入者の本名を記入する欄も設けられているが、本名を入力するか否かは加入者の自由であり、また仮に入力した場合でもサイト上で公開するか否かは加入者の選択に委ねられている。

【0020】更に、情報提供サイト2はポイント制を採用している。商品に関する評価コメントを投稿したメンバに対して、例えば1コメントにつき30ポイントを与える。また、詳しくは後述するが、登録メンバである消費者が別の消費者を紹介した場合にもポイントを与えるようにしている。1ポイントのレートを例えば1円として換算するようにしておき、ポイントを一定額溜めることによって図書券や商品券、電子マネーや現金などと交換できる仕組みである。

【0021】ここで、情報提供サイト2の目的は、商品に関する評価コメント交換の場を設けることにより、消費者の購買活動を支援することである。サイト2には、ネットワークを介して実際に商品を販売するショップや販売店のホームページ等がリンクしており（図1参照）、当該サイト2で見た所望の商品が欲しい場合には、URLアドレスをクリックすることにより消費者はオンラインで実際に商品を購入することもできる。また、サイト2上には広告スペースも設けられており、商品の販売者である企業が広告を掲載することができる。サイト2の運営者は、このような販売店や企業からメンバー登録料や広告料を徴収することができる。また、サイト2の運営者はメーカと契約を結んで商品の販売促進活動を行うことも可能である。この場合、メーカ側から特定商品のCS（顧客満足）等を消費者に対してリサーチすることができる。

【0022】次に、図1～図4を参照して本発明の情報収集システムについて具体的に説明する。本発明の情報収集システムは、商品情報提供サイト2において、消費者の商品評価コメントを収集するシステムである。図2は、本発明の情報収集システムの処理の流れを説明するためのフローチャートである。

【0023】本実施例は、消費者端末1-1（メンバー）が消費者端末1-2及び1-3（非メンバー。本例の場合、消費者端末1-1の友人とする。）を紹介する場合の処理の流れについて説明する。まず、サイト2の登録を受けている消費者端末1-1の消費者は、商品情報提供サイト2のホームページ画面から友人紹介画面を開く（図3参照）。次いで、自分の本名、当該サイトへの登録を友人に勧めるための紹介文、友人の電子メールアドレス（本実施形態の場合最大5人まで）を所定欄に入力し、送信ボタンを押下する（図2、ステップA1）。

【0024】情報提供サイト2は、消費者端末1-1から送信されたデータのチェックを行い、入力された友人の電子メールアドレス（この場合、消費者端末1-2、1-3）に、当該情報提供サイト2の紹介データを含む電子メール（内容については図3の紹介文参照）を送信する（図2、ステップA2）。同時に、紹介者である消費者端末1-1にThank youメールを送信する（図2、ステップA3）。ここで、この情報提供サイト2における消費者端末1-1からの送信データのチェック処理の詳細を図4のフローチャートを用いて説明する。

【0025】まず、消費者端末1-1からの送信データの中に紹介しようとする友人の電子メールアドレスが入力されているか否かをチェックする（図4、ステップB1）。電子メールアドレスが一つも入力されていない場合（ステップB1、NO）、消費者端末1-1の画面にエラーメッセージを出力して処理を終了する（ステップB2）。

【0026】電子メールアドレスが入力されている場合

（ステップB1、YES）、当該電子メールアドレスの文字列に電子メールに使用できない文字が含まれていないかをチェックする（ステップB3）。使用できない文字が含まれている場合（ステップB3、YES）、消費者端末1-1の画面にエラーメッセージを出力して処理を終了する（ステップB4）。

【0027】使用できない文字が含まれていない場合（ステップB3、NO）、入力された友人の電子メールアドレスが既に他の消費者によって紹介済であるか否かをチェックする（ステップB5）。具体的には、友人紹介データベース（図示せず）に記録されたメールアドレスデータに該当する同じアドレスがあるか否かを検索する。既に紹介済である場合は（ステップB5、YES）、消費者端末1-1の画面にエラーメッセージを出力して処理を終了する（ステップB6）。

【0028】一方、友人紹介データベースに該当する電子メールアドレスがない場合（ステップB5、NO）、今度は紹介された消費者1-2、1-3が既にメンバー登録を受けているか否かをチェックする（ステップB7）。具体的には、登録メンバーデータベース（図示せず）に記録された電子メールアドレスに該当する同じアドレスがあるか否かを検索する。既にメンバーとして登録済である場合（ステップB7、YES）、消費者端末1-1の画面にエラーメッセージを出力して処理を終了する（ステップB8）。

【0029】登録メンバーデータベースに該当する電子メールアドレスがない場合（ステップB7、NO）、上述したように、入力された消費者1-2、1-3の電子メールアドレスに、当該情報提供サイト2の紹介データの情報を含むメールを送信する。同時に、紹介者である消費者端末1-1にThank youメールを送信する（ステップB9）。次いで、新たに紹介された消費者1-2、1-3のメールアドレスを友人紹介データベースに書き込み、記録しておく（ステップB10）。これで情報提供サイト2のチェック処理は完了である。尚、以上のチェック処理はプログラム制御により行われる。

【0030】次に、紹介メールを受信した消費者端末1-2及び1-3の消費者は、自分の判断により情報提供サイト2への登録をするか否かについて決定する。メンバー登録する場合は、当該紹介メールに掲載されたサイト2のURLアドレスをクリックすることにより当該サイトにアクセスし、メンバー登録手続を行うことができる。

【0031】具体的には、紹介を受けた消費者1-2及び1-3が情報提供サイト2へ、上述したような任意のハンドルネーム等のデータを入力してメンバー登録の手続を行う。登録手続を行った消費者は、メンバー登録すると共に評価コメントを投稿することができる（ステップA4）。本実施形態の場合、登録手続を行った消費者は評価コメントを投稿したものとする。ここで本システム

では、登録と同時に評価コメントを投稿すると、紹介した既メンバと新たに登録を受けたメンバにポイントが加算されるシステムをとっている（図3上段、第3段落参照）。登録手続が完了すると、消費者1-2の電子メールアドレス登録日の日付等の情報が登録メンバデータベースに記録される。

【0032】評価コメントデータを受信したサイト2は、登録を希望する消費者1-2のIDパスワードの整合性や商品評価コメントの存在等のチェックを行い、整合性チェックと評価コメントの存在を確認する。ここで、今回新たにメンバ登録を受けた消費者は評価コメントを同時に投稿しているので、今回新たに登録を受ける消費者に対して、例えば30ポイントを追加する（図2、ステップA5）。具体的には、メンバポイントデータベース（図示せず）に記録されているデータを更新してポイントを追加する。次いでサイト2は、当該評価コメントを送信した消費者端末の電子メールアドレスが、友人紹介データベースにあるか否かのチェックを行う（ステップA6）。

【0033】友人紹介データベースに該当する電子メールアドレスが存在した場合、消費者1-2を紹介した消費者1-1に対して、例えば100ポイントを追加する（ステップA7）。また、この処理と同時に友人紹介データベースから当該紹介を受けた消費者1-2の電子メールアドレスデータを削除する。ポイントの重複加算を避けるためである。尚、新たに登録を受ける消費者が登録手続をした際に評価コメントを投稿しなかった場合は、ポイントの加算は一切行われぬ。これで、消費者1-2のサイト2への登録手続及び評価コメント投稿処理は完了である。尚、サイト2における評価コメントデータの処理については、本発明と直接の関係がないため、ここでの説明は省略する。

【0034】本発明は上述した実施形態に限定されるものではなく、様々な変形例が考えられる。例えば、上述した実施形態においては商品に関する情報提供システムについて説明したが、サービスに関する情報提供システムにも本発明を適用できることはいうまでもない。また、ポイントは例示した点数に限られるわけではなく、運営者の事業規模等に合わせて適宜変更することが可能

である。

【0035】

【発明の効果】上述したように本発明によれば、情報提供サイトの運営者は情報提供サイトをネット上に公開しておくことによって、手間をかけずに自動的に登録メンバによる紹介が進むので、登録メンバ数と評価コメント数の増加を効率よく図ることができる。この結果、運営者は低コストでサイトを運営することができるので、結果として多くの収益が見込める。

【0036】また、本発明は友人等の紹介を経ており、見ず知らずの企業からのDM等に比較して、紹介を受ける側の消費者に対して安心感と信頼感を与えることができるので、消費者のレスポンス率を高めることができる。更に、紹介された消費者がサイトの登録メンバになり、かつ評価コメントを投稿した時のみポイントを加算する仕組みをとっているため、運営者は低リスクでサイトを運営することができ、また評価コメントを効率よく収集することができる。

【0037】また、紹介される消費者に関する情報は、登録をするまでは運営者側にメールアドレスしか知られないため、プライバシー保護についての問題もない。このため、消費者の匿名性が保たれる。また、サイトに登録した場合であっても、本名で登録するかは任意に決定することができるので、消費者にとってもサイトに参加しやすいという副次的な効果もある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の情報収集システムを実施する情報提供システムの構成を示すブロック図である。

【図2】本発明の情報収集システムの処理の流れを説明するためのフローチャートである。

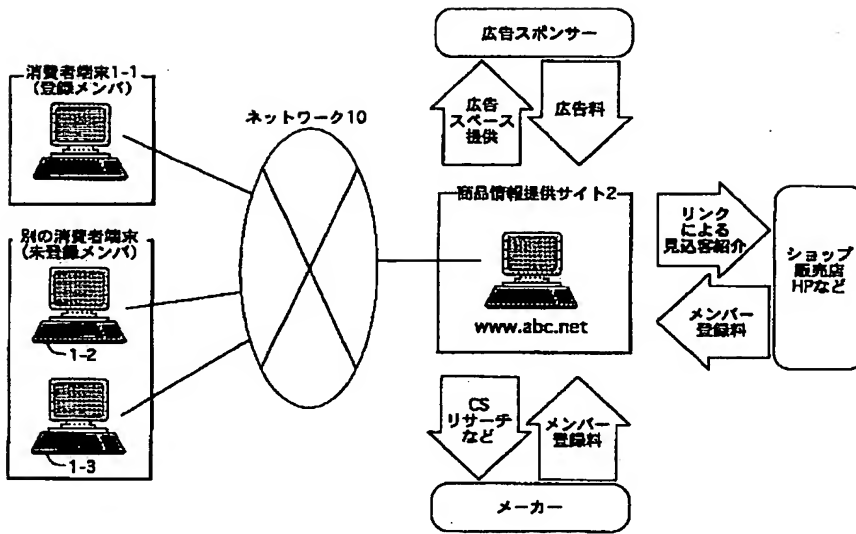
【図3】情報提供サイトの友人紹介画面を示す図である。

【図4】商品情報提供サイトにおける送信データのチェック処理の流れを説明するためのフローチャートである。

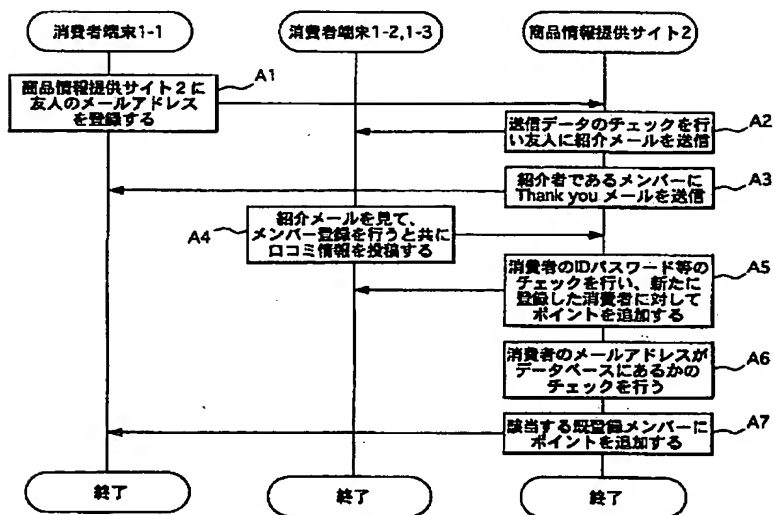
【符号の説明】

1-1、1-2、1-3	消費者端末
2	商品情報提供サイト
10	ネットワーク

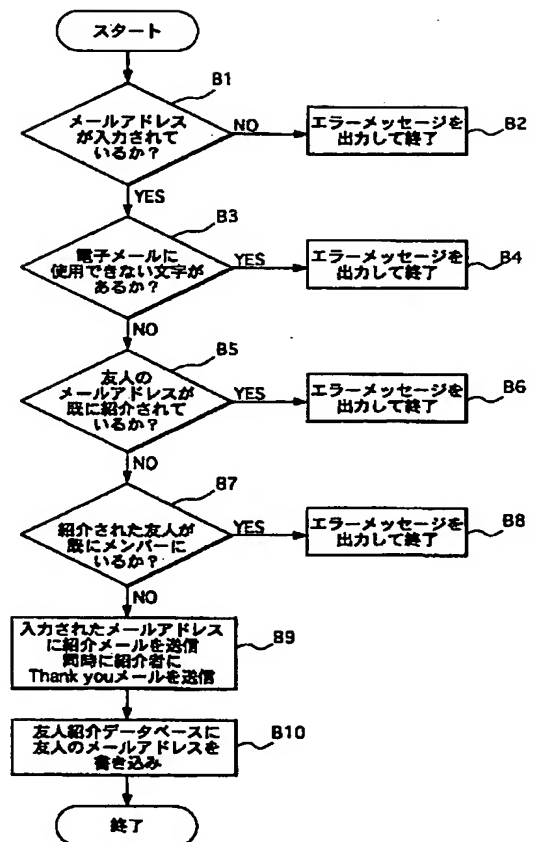
【図1】



【図2】



【図4】





【図3】

「〇〇ネット」は、メンバーの皆様から口コミ情報を寄せて頂くことで成り立っています。是非、お友達を井戸端会議仲間に加えて下さい。

「〇〇ネット」の紹介文をこちらで用意しました。あとは所定欄にご記入頂き、お友達に送信して頂くだけです。

尚、あなたから紹介されたお友達が紹介文送信後、「〇〇ネット」のメンバーに加入すると共に、商品評価コメントを寄せられた場合にはお礼として、あなたへ100ポイント、お友達へ30ポイントが与えられます。

紹介文のはじめにあなたのお名前をお入れしますので、こちらに本名をご記入下さい。（半角カタカナは入力しないで下さい。）

\*\*\*\*本サイトの紹介文\*\*\*\*

“上記空欄に入れたあなたのお名前が入ります”さんから、「〇〇ネット」（www.abc.net）の紹介です。

はじめまして、こちらは商品評価の口コミ情報を集めたホームページ「〇〇ネット」です。「〇〇ネット」ではアクセスしていただいた皆様から

「〇〇〇って商品、結構使いやすくて良かったわよ！」

「チャイルドシート買ったら、△△△ね！どうしてって？それはね・・・」

といった率直なご意見を募集しています。

参加された皆様からの口コミ情報が集まれば集まるほど、便利になっていきます。そこで、「〇〇ネット」を盛り上げて下さったメンバーに対し、そのお礼として一定のポイントをお贈りし、各種プレゼント企画などに反映する予定です。

あなたの「〇〇ネット」への参加を、心よりお待ち申し上げます。下記アドレスにアクセスして、是非参加して下さい。

★「〇〇ネット」<<http://www.abc.net>>

※お問い合わせはこちらまで・・・

<<http://www.abc.net/contact.html>>

紹介文の前に挿入されるあなたからのコメント（200字以内。半角カタカナは使用しないで下さい。）

※いやがらせメールの誤解がないよう、お友達に「〇〇ネット」に参加してもらいたい理由をよくわかるようにご説明下さい。また、トラブルを避けるため、固執のない方への送信はご遠慮下さい。

送信するお友達のメールアドレス（半角英数でご記入下さい。）


送信

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**